

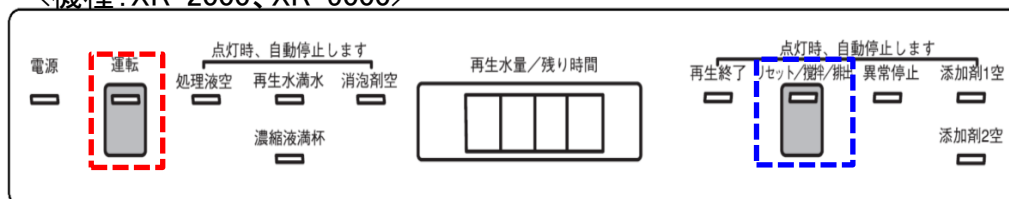
「E-1」表示について

稼働中に「E-1」が表示された場合、以下の方法にて対処ください。

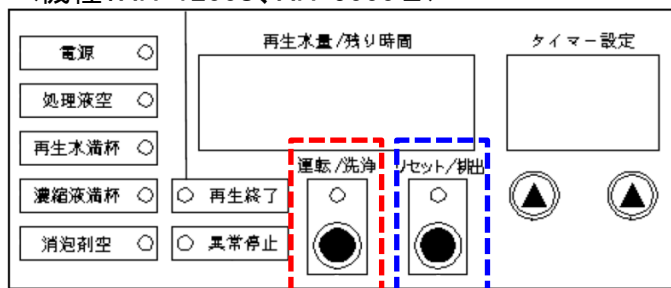
①稼働後10秒～1分程度でエラーが発生する場合は、エラー表示を解除し、直ぐに再度稼働させ、これを何度か繰り返します。

(エラー発生後、**運転スイッチ**もしくは**リセットスイッチ**を1回押下にてエラー解除します)

＜機種：XR-2000、XR-5000＞



＜機種：XR-1200J、XR-5000 II＞



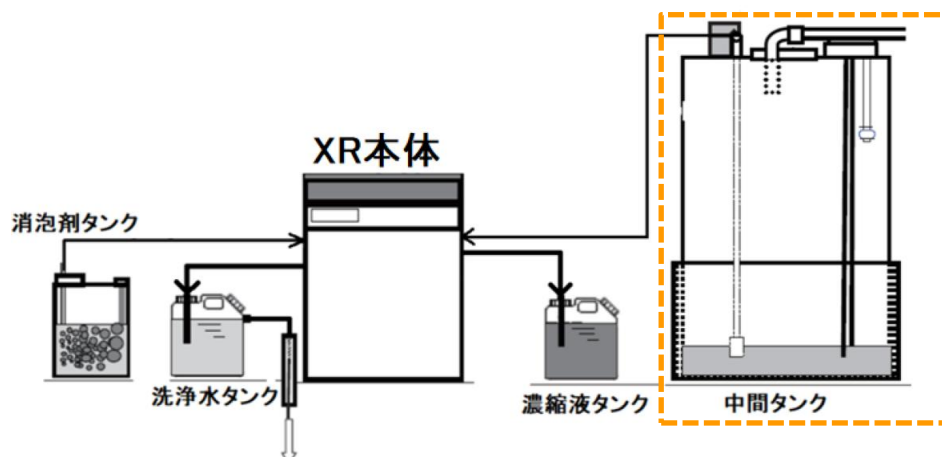
②エラーが解消されない場合、XR-1200J、XR-2000については、次頁以降を参照し、「E-1 水流タンクエラーの対処方法」を実施します。

・XR-1200J「E-1 水流タンクエラーの対処方法」 本資料p.2～p.3

・XR-2000「E-1 水流タンクエラーの対処方法」 本資料p.4～p.5

ご使用の機器がXR-5000、XR-5000 II の場合は、③へ進みます。

③再度エラーが発生する場合は、**中間タンク(円筒型の大きい容器)** 内の液量をご確認頂き、弊社コンタクトセンターまでご連絡ください。



XR-1200J「E-1 水流タンクエラーの対処方法」

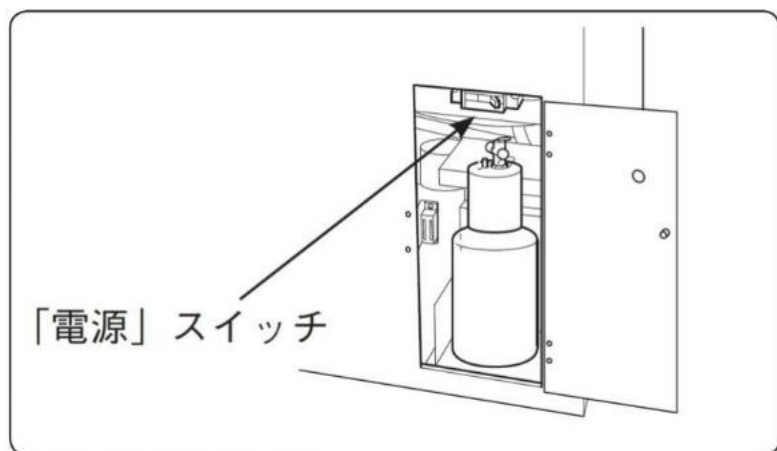
⚠ 警告



感電注意

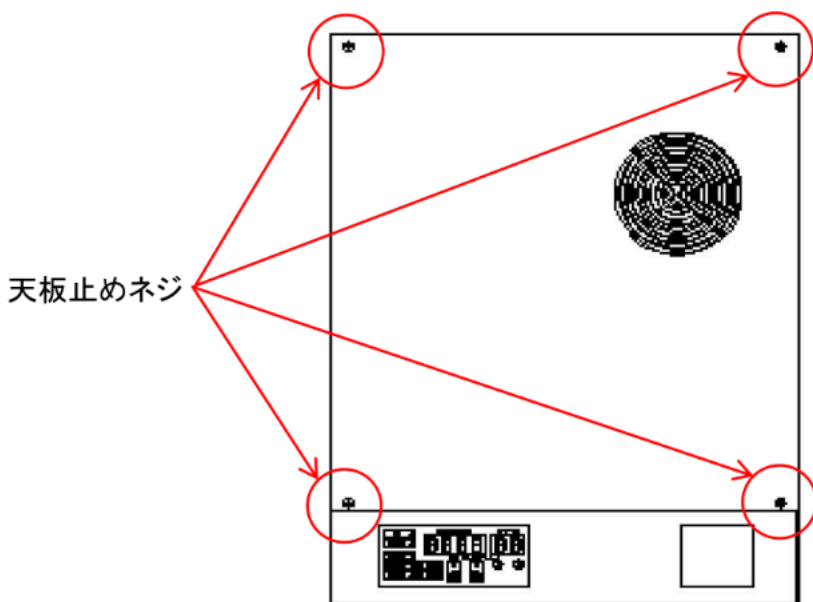
濡れた手で電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたり差ししたりしないでください。感電の恐れがあります。

必要工具: No2 プラスドライバー ノズル付きジョッキに水を1.5リットル



①前扉を開いて「電源」スイッチを「切」にし、電源をOFFにします。

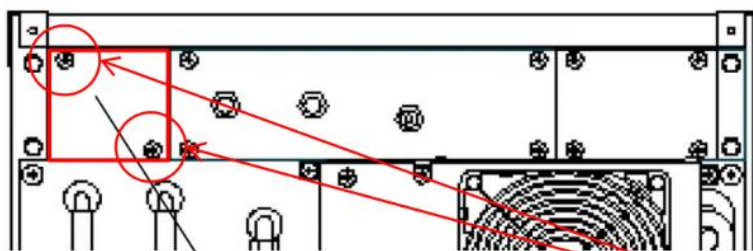
②前扉を閉じます。



③天板止めネジを4箇所取り外します。

注意: ネジを落とさないようにご注意ください

装置上面後方図



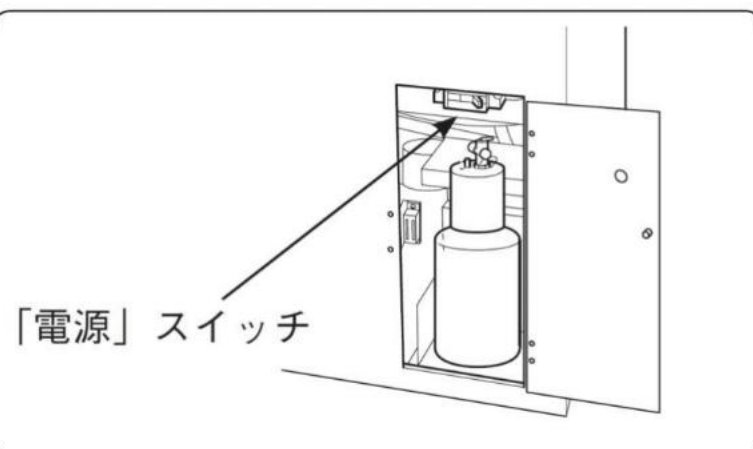
水流タンク注水口蓋

④注水口蓋止めネジを2箇所外します。

⑤この下にXR内で使用する水のタンクがあります。
ノズルを差し込み、ゆっくり給水してください。

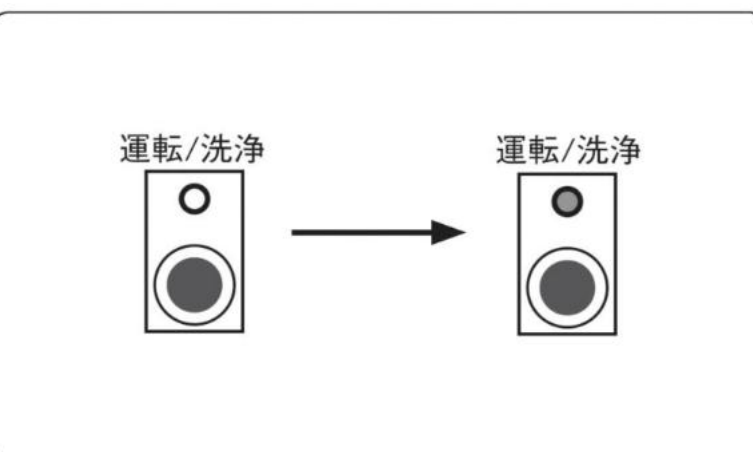
入れすぎても機械内部に漏れ出す事は御座いません。

注水口蓋止めネジ



⑥注水口蓋、天板を取り付けます。

⑦電源スイッチを「入」にし、電源をONにします。
電源が入ると「電源」ランプが点灯します。



⑧運転ボタンを押すと運転が開始されます。

XR-2000「E-1 水流タンクエラーの対処方法」

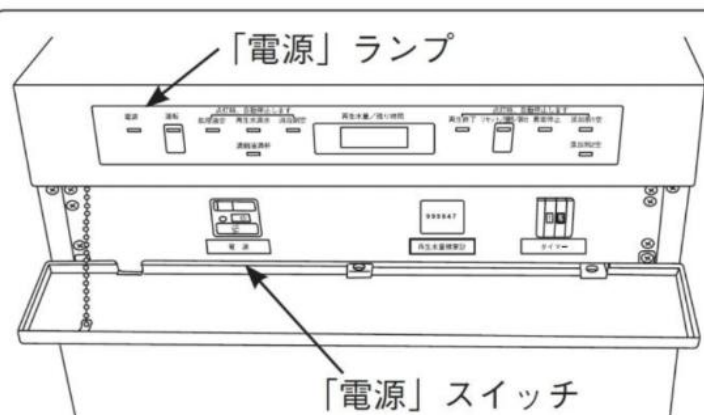
⚠ 警告



感電注意

濡れた手で電源スイッチを操作したり、コンセントから電源プラグを抜いたり差ししたりしないでください。感電の恐れがあります。

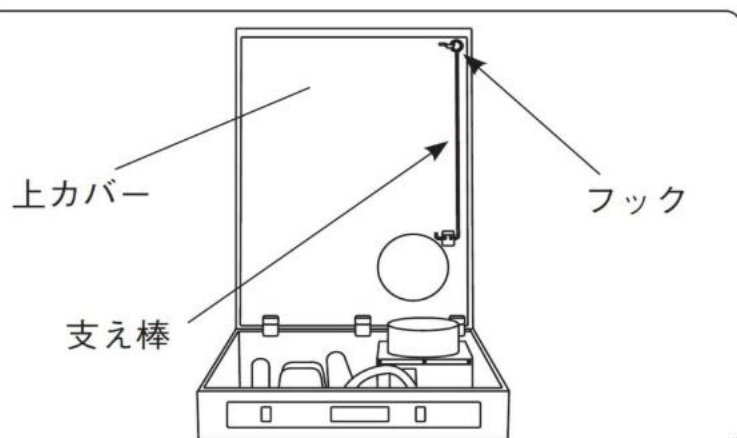
必要工具: No2 プラスドライバー ノズル付きジョッキに水を1.5リットル



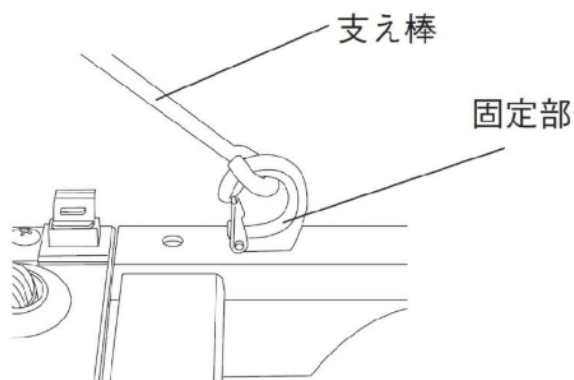
- ①電源部カバーを開いて「電源」スイッチを「切」にし電源をOFFにします。

電源が切れると、「電源」ランプが消灯します。

- ②電源カバーを閉じます。



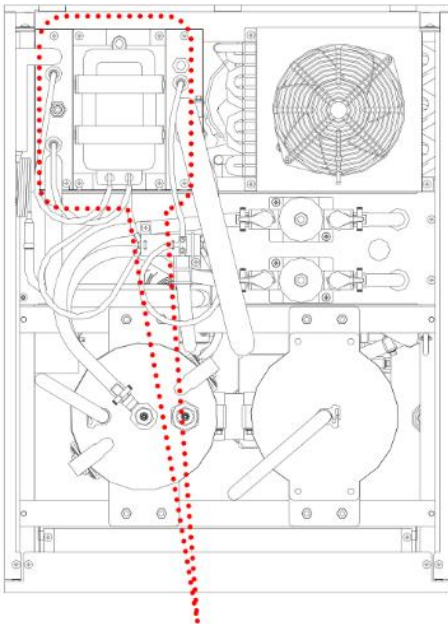
- ③上カバーを開き、片手で上カバーを持って、支え棒をフックからはずします。



- ④外した支え棒を本体内部の固定部に取り付けます。

⚠ 注意

支え棒を確実に固定部に取り付けてから手を離してください。途中で手を離すと、上カバーが閉じてケガをする恐れがあります。



- ⑤左奥に曝気ポンプが上下2段になってあります。
それらを固定しているブラケット固定ネジを外します。

注意:ネジを落とさないようにご注意ください

- ⑥ケーブル、ホースはそのまま、
ジョッキのノズルが中に入る位ずらして下さい。(約20mm程度)

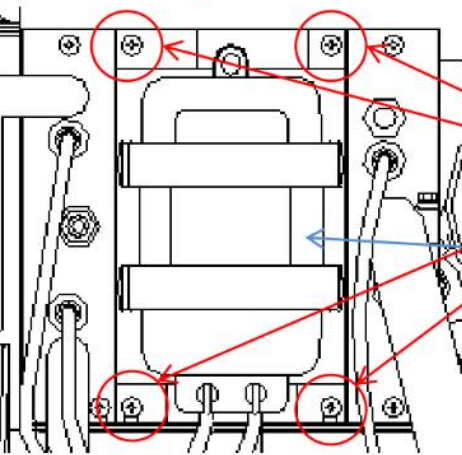
- ⑦この下にXR内で使用する水のタンクがあります。
ノズルを差し込み、ゆっくり給水してください。

入れすぎても機械内部に漏れ出す事は御座いません。

- ⑧ブラケットを基に位置に戻し、ネジ4箇所を固定して下さい。

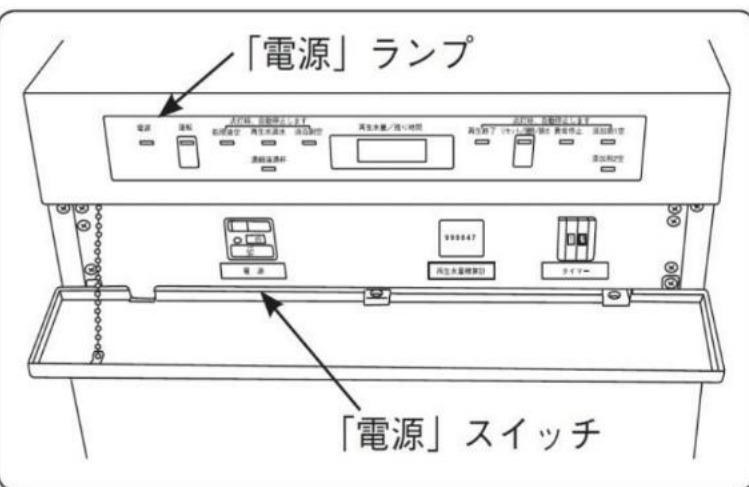
- ⑨上カバーの支柱を固定部からはずしフックに戻します。

- ⑩上カバーをしめます。



ブラケット固定ネジ

曝気ポンプ



- ⑪電源スイッチを「入」にし、電源をONにします。
電源が入ると「電源」ランプが点灯します。



- ⑫運転ボタンを押すと運転が開始されます。